

令和7年度学校パワーアップ事業全体構想

学校名

荒川区立諏訪台中学校

学校パワーアップのための基本方針・各事業内容

- 1 学び方を学び、協働的な学びを推進し、主体的対話的で深い学びの実現を図る。
- 2 教師が指導力の工夫・改善に取り組み、学習指導と心の教育の充実を図る。
- 3 ICT教育や学校図書館活用を推進し、情報活用能力の育成を図る。

学力向上マニフェスト	創造力あふれる教育の推進	未来を拓く子どもの育成
<u>確かな学力の定着</u> <u>学ぶ機会を保障する学校づくり</u> 個に応じた学びの実現と家庭学習の充実 ・学習コンテンツの提供と活用 ・デジタル教材活用の推進 ・Googleクラスルーム等オンラインを活用した学習の推進 指導法の工夫改善と学習指導の充実 ・基礎学力の定着と主体的な学びの実現を目指した研究のための講師招聘 英語教育の充実 ・英語活動の充実 各種検定受検の奨励・支援 ・英語・数学漢字検定受検の推進 ・ニュース検定・防災検定等、各種検定受検の奨励	<u>豊かな人間性を育む文化的で教養ある学校づくり</u> 文化的活動の充実 ・音楽活動の推進 ・発表活動の充実 人間力を育てる教育の充実 ・道徳教育の充実 ・学級活動の活性化 ・主権者教育・法教育の充実 個に応じた教育の充実 ・日本語指導の充実 ・特別支援教育の推進 個性を伸ばす活動の充実 ・部活動の推進	<u>未来社会の担い手を育成し、関わりを大切にする学校づくり</u> キャリア教育の推進 ・職業調べ・職業講話 - 第1学年：校内ハローワーク ・社会で活かすマナー講座 - 第2学年：勤労留学に向けて - 第3学年：卒業後に向けて ICTスキルの向上とIT環境対応力の推進 奉仕精神の醸成 ・JRC等社会貢献活動 ・防災部・生徒会を中心とした安全教育・防災教育の充実 学校図書館の活用 ・各教科・領域での活用推進 ・読書活動の奨励・充実 地域と関わる教育の充実 ・教育活動への地域人材活用 ・地域活動への参画

令和6年度 全国・荒川区学力調査に関する結果（平均正答率：％）

区学力調査（全学年）

	1年					2年				
	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
自校	63.0	49.0	68.5	65.7	78.5	68.4	45.0	60.9	53.9	56.4
区	62.4	49.9	66.1	64.2	79.4	63.3	45.4	57.4	51.7	55.4
区との比較	0.6	▲ 0.9	2.4	1.5	▲ 0.9	5.1	▲ 0.4	3.5	2.2	1.0
	3年									
	国語	社会	数学	理科	英語					
自校	70.5	46.4	60.3	49.5	57.7					
区	68.4	49.0	55.8	48.3	54.0					
区との比較	2.1	▲ 2.6	4.5	1.2	3.7					

全国学力・学習状況調査（3年）

	国語	数学
自校	60	63
全国（公立）	58.1	52.5
全国（公立）との比較	1.9	10.5

※学校の結果は整数で示されています。

令和7年度 学力向上マニフェスト

学校名

荒川区立諏訪台中学校

事業名	取組の内容及び目標
	(昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
個に応じた学びの実現と家庭学習の充実	【内容】学力調査・意識調査、学校評価アンケートから個に応じた学びが十分になされていないことに鑑み、デジタル教材の活用を促進し、学びの保障を図ることとした。家庭学習の習慣化と基礎学力の定着も図る。 【目標】学習習慣に関わる項目の肯定回答を生徒、保護者共に70%以上。
指導法の工夫改善と学習指導の充実	【内容】タブレットPC、デジタル教科書・電子黒板、デジタルコンテンツ、学校図書館を活用し、生徒の興味・関心を引く、分かりやすい授業を目指すとともに、学びに向き合う生徒集団を育てる。また、研究大会への参加や校内外の研修を通して、優れた授業の参観・協議会参加等の成果を授業力・指導力の向上に生かす。 【目標】分かる授業の肯定回答生徒80%、保護者70%以上。
英語教育の充実	【内容】スピーキングテスト他外国語教育を取り巻く課題の解決に向け、英語教育、英語行事を充実させる。TGG1日コースに第2学年を参加させる。 【目標】各学年とも英語学力の定着を図り、各学力調査の平均正答率を上回る。
各種検定受検の奨励・支援	【内容】多様な検定を積極的に周知し、合格に向けて取り組ませる。また、放課後寺子屋を活用し、合格に向けて支援する。年度末に受検者数、合格者数を報告する。 【目標】英語検定：受検者180名 漢字検定：受検者150名 数学検定：受検者75名 各検定とも合格者80%以上 防災検定：受検者各15名